

依頼文に記載の「事業所番号」を記入してください。

記入例

事業所番号No. _____

令和〇年〇月〇日

廃棄物減量・リサイクル計画書

熊本市長（宛）

所在地 熊本市中央区手取本町 1-1

名称 熊本市商事(株)

代表者 代表取締役 熊本市太郎

熊本市事業系廃棄物の減量化及び再資源化に関する指導要綱第6条第1項の規定に基づき、令和8年度(2026年度)の廃棄物減量・リサイクル計画書を次のとおり提出します。

令和8年度(2026年度) 廃棄物減量・リサイクル計画書
(令和8年(2026年)4月～令和9年(2027年)3月)

kg 又は t のうち適当なものを○で囲んでください。

種類	事項	発生量(A+B) (kg) t /年	処理量の区分		資源化率 % B/(A+B)×100
			廃棄処理量 (A) (kg) t /年	再資源化量 (B) (kg) t /年	
	紙類	2400	756	1644	68.5
	厨芥類	400	400	0	0
	びん・缶類	200	0	200	100
	ペットボトル				
	草類				
	落葉類				
	木・竹くず				
	繊維くず				
	金属くず				
	ガラス・陶磁器くず				
	コンクリートくず				
	アスファルトくず				
	汚泥				
	廃油(食用油)				
	廃油(機械油)				
	その他(食品ロス)				
	その他()				
	合計	3190	1296	1894	59.4

廃棄物の減量化やリサイクルに取り組んでいくためには、まず事業所から出るごみの実態を把握し、その上で具体的な減量目標値を設定してください。

- ① 廃棄物の量の把握は、廃棄物処理業者からの報告書等を基に年間発生量を推定してください。
- ② 把握した結果から改善ポイントを洗い出し、改善案を立案します。(例えば、分別品目を決める。必要な器具を備えつける。社員への啓発を行う。社員の役割を決める。分別品目に合った収集契約を結ぶ。等)
- ③ ②の検討結果をもとに、年間計画を立てます。

食品ロスに該当するものがあれば、その他()内に食品ロスと書いてください。

(注)1 数量は、1年間の概算値を書いてください。

2 数量の単位は、kg 又は t のうち適当なものを○で囲んでください。

3 可燃ごみ、食品ロス、プラスチックは可能な限り分別してその他の欄に書いてください。

4 厨芥類は生ごみを指します。生ごみと可燃ごみを分別していない場合は合計した量を書いてください。

(表面)

様式第2号(要綱第6条関係)

前年度実績(令和7年(2025年)4月~令和8年(2026年)3月)

前年度の実績を記入
してください。

種類	事項	発生量(A+B) (kg)t/年	処理量の区分		再資源化率 % B/(A+B)× 100
			廃棄処理量 (A) (kg)t/年	再資源化量 (B) (kg)t/年	
紙類		2640	1280	1360	51.5
厨芥類		443	443	0	0
びん・缶類		215	89	126	58.6
ペットボトル		54	13	41	75.9
草花類		48	48	0	0
落葉類		45	45	0	0
木・竹くず		24	24	0	0
繊維くず					
金属くず		13	13	0	0
ガラス・陶磁器くず		14	14	0	0
コンクリートくず					
アスファルトくず					
汚泥					
廃油(食用油)					
廃油(機械油)					
その他(食品ロス)		26	15	11	42.3
その他()					
合計		3522	1984	1538	43.7

種類の欄が足りないときは、
この用紙を複写して記入して
ください。

(注) 数量、単位、その他の廃棄物については、計画書と同じ要領で書いてください。

※ 事業用延床面積が 3,000 m²(学校等は 8,000 m²)以上の建築物を所有している場合は、次表も書いてください。

建築物の属性		入居事業所名	
名称	熊本市不動産ビル	〇〇銀行〇〇支店	〇〇薬局
所在地	熊本市中央区手取本町 1-1	〇〇商事〇〇支店	レストラン〇〇
所有者	代表取締役 花畑町 三郎	〇〇保険	喫茶〇〇
建築物の規模	地上 7 階 地下 1 階	〇〇不動産	〇〇証券
	延床面積 7.351 m ²	〇〇ホーム	〇〇書店
【建築物の用途】		〇〇薬品	
事務所	12 社 4.965 m ²	〇〇建設	
店舗	4 社 1.801 m ²	〇〇工務店	
ホテル	社 m ²	〇〇電機	
その他	社 m ²	〇〇工業	
共有部分	765	〇〇管理事務所	
使用者・従業員等総数	281 人	入居事業所数	

廃棄物減量・リサイクル責任者	(職名) 管理部長	(氏名) 花畑町 五郎
----------------	-----------	-------------

事業所番号No. _____

令和 年 月 日

廃棄物減量・リサイクル計画書

熊本市長（宛）

所在地

名称

代表者

熊本市事業系廃棄物の減量化及び再資源化に関する指導要綱第6条第1項の規定に基づき、令和8年度(2026年度)の廃棄物減量・リサイクル計画書を次のとおり提出します。

令和8年度(2026年度) 廃棄物減量・リサイクル計画書
(令和8年(2026年)4月～令和9年(2027年)3月)

種 類	事 項	発生量(A+B) kg・t /年	処理量の区分		再資源化率 % B/(A+B)× 100
			廃棄処理量 (A) kg・t /年	再資源化量 (B) kg・t /年	
	紙類				
	厨芥類				
	びん・缶類				
	ペットボトル				
	草類				
	落葉類				
	木・竹くず				
	繊維くず				
	金属くず				
	ガラス・陶磁器くず				
	コンクリートくず				
	アスファルトくず				
	汚泥				
	廃油(食用油)				
	廃油(機械油)				
	その他(食品ロス)				
	その他()				
	合計				

(注)1 数量は、1年間の概算値を書いてください。

2 数量の単位は、kg 又は t のうち適当なものを○で囲んでください。

3 可燃ごみ、食品ロス、プラスチックは可能な限り分別してその他の欄に書いてください。

4 厨芥類は生ごみを指します。生ごみと可燃ごみを分別していない場合は合計した量を書いてください。

(表面)

様式第2号(要綱第6条関係)

前年度実績(令和7年(2025年)4月~令和8年(2026年)3月)

種 類	事 項	発生量(A+B) kg・t /年	処理量の区分		再資源化率 % B/(A+B)× 100
			廃棄処理量 (A) kg・t /年	再資源化量 (B) kg・t /年	
紙類					
厨芥類					
びん・缶類					
ペットボトル					
草花類					
落葉類					
木・竹くず					
繊維くず					
金属くず					
ガラス・陶磁器くず					
コンクリートくず					
アスファルトくず					
汚泥					
廃油(食用油)					
廃油(機械油)					
その他(食品ロス)					
その他()					
合計					

(注) 数量、単位、その他の廃棄物については、計画書と同じ要領で書いてください。

※ 事業用延床面積が 3,000 m²(学校等は 8,000 m²)以上の建築物を所有している場合は、次表も書いてください。

建築物の属性				入居事業所名		
名 称						
所在地						
所有者						
建築物 の規模	地上	階	地下	階		
	延床面積			m ²		
【建築物の用途】						
事務所	社				m ²	
店舗	社				m ²	
ホテル			社			m ²
その他			社			m ²
共有部分					m ²	
使用者・従業員等総数				人	入居事業所数	

廃棄物減量・リサイクル責任者	(職名)	(氏名)
----------------	------	------

(裏面)